

「2024年国立台湾大学スプリングスクール派遣報告書」

京都大学文学部1年 中野 真咲

① 学習成果

私は今回の留学が初めての台湾渡航であり、中国語の学習歴もなかった。しかし、このプログラムに参加したことにより、台湾文化や中国語に関して興味を持つようになり、実際中国語の学習は（第二外国語として選択してはいないものの）帰国後も続けていきたいと思う。

今日、リモート化や翻訳技術の発展によって、人と会って話すために物理的距離や言語の壁は大した制約とはならないのかもしれない。しかし、私はやはり直接現地に赴いて自分の言葉で人と話すということに大きな価値を見出しており、今回のプログラムで台湾に赴いて様々な人と話すことで、さらにその思いが強くなった。私の学問的関心が文化や生活と関連する分野に位置することもあり、実地経験によって良い知見を得ることができたと思う。また、将来的な専門に関連して、今までは日本国内しか研究対象にできないと思っていたが、実地での経験や他者からのアドバイスによって、より学際的な方向でもアプローチできるのではないかと思うようになった。今回台湾を一つの比較対象として考えることにより、不確定だった将来の専門が少しずつではあるが定まってきたように思う。

私は在学中に交換留学などを利用し、長期で海外に赴く機会を得たいと思っている。そのためには今から英語やその他言語の語学学習、様々なプログラムへの参加を通して選択肢を広げることが必要であり、これはすぐに取り掛かっていこうと思う。5月末には、外務省が推進する「JENESYS2024」の一環として日本大学生訪中団2025の一員となり、1週間ほど中国を訪れることが決まっている。今回の短期留学の経験を活かし、こちらも将来的な語学学習、専門決定の礎としたい。

② 海外での経験

滞在を通して、京大からの参加者だけではなく、他大からの参加者や現地の学生とも親交を深めることができた。彼らとは、日常会話から各々の専門に関する話まで、様々なことについて話し合い、自分が普段生活している圏外の世界について知る貴重な経験を得ることができた。特に、現地の方々との会話は、お互いに全く違う文化圏で、全く違う生活を送っているがゆえに、ほんの些細な日常会話でも驚きや発見を得ることができ、他者の生活を真に迫ったものとして考える糸口となった。

また、プログラム外では、平日の授業後を利用して台北市内の主要な観光地を巡ったほか、休日は少し遠出をして九份や猫空、台中などを訪れた。こちらは普通の観光と同じように、現地の景色や食事を楽しんだが、平日学んだ中国語を実践する場となり、有意義なものとなった。

③ プログラム内容

プログラムは基本的に土日祝を除いた毎日行われ、午前中は中国語の授業が3時間、午後は Cultural Activity、Tutor Station、Exploring Taiwan Lecture、Cultural Visit など様々なアクティビティが行われた。また、丸一日を使って少し離れた場所を訪れる One Day Trip が行われる日もあった。私は中国語が未履修であったため、中国語の授業は初修クラスで受けることとなったが、それでも初めから積極的に中国語を使って話すことが求められ、実践に重きを置いた授業が行われた。おかげさまで、プログラムの終盤には、簡単な自己紹介や注文の受け答えなら自力でできるようになった。Cultural Activity では、台湾の文化体験が行われ、今年は客家のうちわ作りや芋圓作りなどが行われた。Tutor Station では、現地の学生アドバイザーに宿題を手伝ってもらったり、発音を矯正してもらったりし、中国語の向上に大いに役立ったと思う。Exploring Taiwan Lecture では、台湾の文化に関する講義が行われ、今年は民俗信仰、伝統音楽、台湾茶についての授業であった。Cultural Visit では、今年は關渡と文山農場を

訪れ、レクチャーの内容を実際に体験する形となった。また、One Day Trip では、苗栗を訪れ、藍染め体験を行ったり、客家料理を味わったりした。いずれも大変充実しており、台湾文化を学ぶための良い経験となった。

④ 進路への影響

私は元々なんらかの形で長期留学に行きたいと考えていたこともあり、在学中に交換留学などの形で海外大学に行きたいという意向は留学前と変化していない。しかし、今回実際に台湾に赴いて3週間ほど生活してみたことにより、海外で生活するということが現実に想像できるものになったほか、より留学志向が強くなったと感じた。また、選択肢の一つとして国立台湾大学に留学、あるいは進学するという選択肢も生まれた。学部のカリキュラム上具体的な期間は未定だが、それも含め近々詳細に検討しようと思っている。